

一 即位礼正殿の儀次第

細目案で新たに盛り込まれる事項 (主なもの)

内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長及び最高裁判所長官が正殿松の間に入り、所定の位置に着く。

皇嗣殿下、皇嗣妃殿下、親王殿下、親王妃殿下、内親王殿下及び女王殿下が正殿梅の間の前を経て正殿松の間に入られ、所定の位置に着かれる。

午後一時、天皇陛下が梅の間側扉から正殿松の間にお入りになる。

皇后陛下が梅の間側扉から正殿松の間にお入りになる。

次第概要 (令和元年6月20日式典委員会決定)

● 天皇陛下が正殿松の間にお出まし
〔侍従がそれぞれ剣、璽、国璽及び御璽を捧持〕

● 天皇陛下が高御座たかみくらにお昇り
〔侍従が剣、璽、国璽及び御璽を高御座の案上に奉安〕

● 皇后陛下が正殿松の間にお出まし

参列者が鉦しょうの合図により起立する。

侍従及び女官が高御座及び御帳台みちょうだいの御帳を開く。

参列者が鼓この合図により敬礼する。

内閣総理大臣が御前に参進する。

内閣総理大臣が御即位を祝して万歳を三唱する。参列者が唱和する。

内閣総理大臣が所定の位置に戻る。

侍従及び女官が高御座及び御帳台の御帳を閉じる。

参列者が鉦の合図により着席する。

● 皇后陛下みちようだいが御帳台にお昇り

● 参列者敬礼

● 天皇陛下のおことば

● 寿詞よごと (内閣総理大臣)

● 万歳三唱

細目案で新たに盛り込まれる事項 (主なもの)

天皇陛下が正殿松の間から正殿竹の間の前を経て御退出になる。

皇后陛下が正殿松の間から正殿竹の間の前を経て御退出になる。

皇嗣殿下、皇嗣妃殿下、親王殿下、親王妃殿下、内親王殿下及び女王殿下が正殿松の間から正殿竹の間の前を経て退出される。

内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長及び最高裁判所長官が正殿松の間から退出する。

次第概要 (令和元年6月20日式典委員会決定)

天皇陛下が御退出

〔侍従がそれぞれ剣、璽、国璽及び御璽を捧持〕

皇后陛下が御退出

〔儀式は、午後1時（天皇陛下が正殿松の間にお出まし）に始まり、おおむね午後1時30分（皇后陛下が御退出）に終わる。（予定）〕

二 服装

- 1 天皇陛下ごそくたい 御束帯こうろぜんのごほう (黄櫨染御袍)
- 2 皇后陛下おんいつつきぬ おんからぎぬ おんも 御五衣・御唐衣・御裳
- 3 皇嗣殿下おうにのほう 束帯 (黄丹袍、帯剣)
- 4 皇嗣妃殿下いつつきぬ ならぎぬ も 五衣・唐衣・裳
- 5 親王殿下 束帯 (帯剣) (これにより難しい場合には、燕尾服 (勲章着用) とする。)
- 6 親王妃殿下、内親王殿下及び女王殿下 五衣・唐衣・裳 (これにより難しい場合には、ロングドレス (勲章着用) とする。)
- 7 宮内庁長官、宮内庁次長、侍従長、侍従次長、侍従、皇嗣職大夫、皇嗣職宮務官長、式部官長及び式部副長 束帯
- 8 女官長及び女官 五衣・唐衣・裳
- 9 威儀の者及び衛門 束帯 (帯剣、弓)
- 10 威儀物捧持者、司鉦司鼓及び鉦鼓の係員 束帯
- 11 参列者
男子 燕尾服、モーニングコート、紋付羽織袴又はこれらに相当するもの
女子 ロングドレス、デイドレス、白襟紋付又はこれらに相当するもの
勲章着用

三 参列者の範囲

1 皇室関係

2 立法機関

- (1) 衆・参両院議長、副議長各夫妻
- (2) 国会議員（衆・参両院議長、副議長、内閣総理大臣、国务大臣、内閣官房副長官、副大臣、大臣政務官を除く。）
- (3) 国会事務局（国立国会図書館を含む。）の職員で参列するにふさわしい者

3 行政機関

- (1) 内閣総理大臣、副総理各夫妻
- (2) 国务大臣
- (3) 内閣官房副長官、副大臣、大臣政務官、内閣法制局長官
- (4) 内閣危機管理監、内閣情報通信政策監、国家安全保障局長、個人情報保護委員会委員長、公害等調整委員会委員長、運輸安全委員会委員長、内閣官房副長官補、内閣広報官、内閣情報官、内閣総理大臣補佐官、内閣法制次長、事務次官、会計検査院事務総長、人事院事務総長、警察庁長官、金融庁長官、消費者庁長官、統合幕僚長
- (5) 会計検査院長、検査官、人事院総裁、人事官、公正取引委員会委員長、原子力規制委員会委員長、検事総長、次長検事、検事長
- (6) その他の職員で参列するにふさわしい者

4 司法機関

- (1) 最高裁判所長官、最高裁判所判事（長官代行）各夫妻
- (2) 最高裁判所判事
- (3) 高等裁判所長官
- (4) その他の職員で参列するにふさわしい者

5 元三権の長

元内閣総理大臣、元衆・参両院議長、元最高裁判所長官各夫妻

6 地方公共団体

- (1) 都道府県知事、同議会議長
- (2) 政令指定都市の市長、同議会議長
- (3) 市長の代表二名、同議会議長の代表二名
- (4) 町村長の代表二名、同議会議長の代表二名

7 外交関係

外国元首・祝賀使節等夫妻、駐日外国大使等

8 各界代表

次の各号の一に該当する者

- (1) 各界において代表的立場にある者
- (2) (1)以外の者でふさわしい者、例えば、次に掲げるところに該当する者
 - (ア) 文化勲章その他の勲章受章者、褒章受章者、文化功労者
 - (イ) 研究等で顕著な業績を挙げた者
 - (ウ) 技術、技能、芸術、文化、スポーツ等の各分野で顕著な業績を挙げた者
 - (エ) 産業、経済等の各分野で顕著な業績を挙げた者
 - (オ) 社会教育、社会福祉あるいは更生関係の各分野で貢献のあった者
 - (カ) 青少年を代表するにふさわしい者
 - (キ) 国際親善の増進等に貢献のあった者
 - (ク) 海外日系人を代表するにふさわしい者

9 報道関係

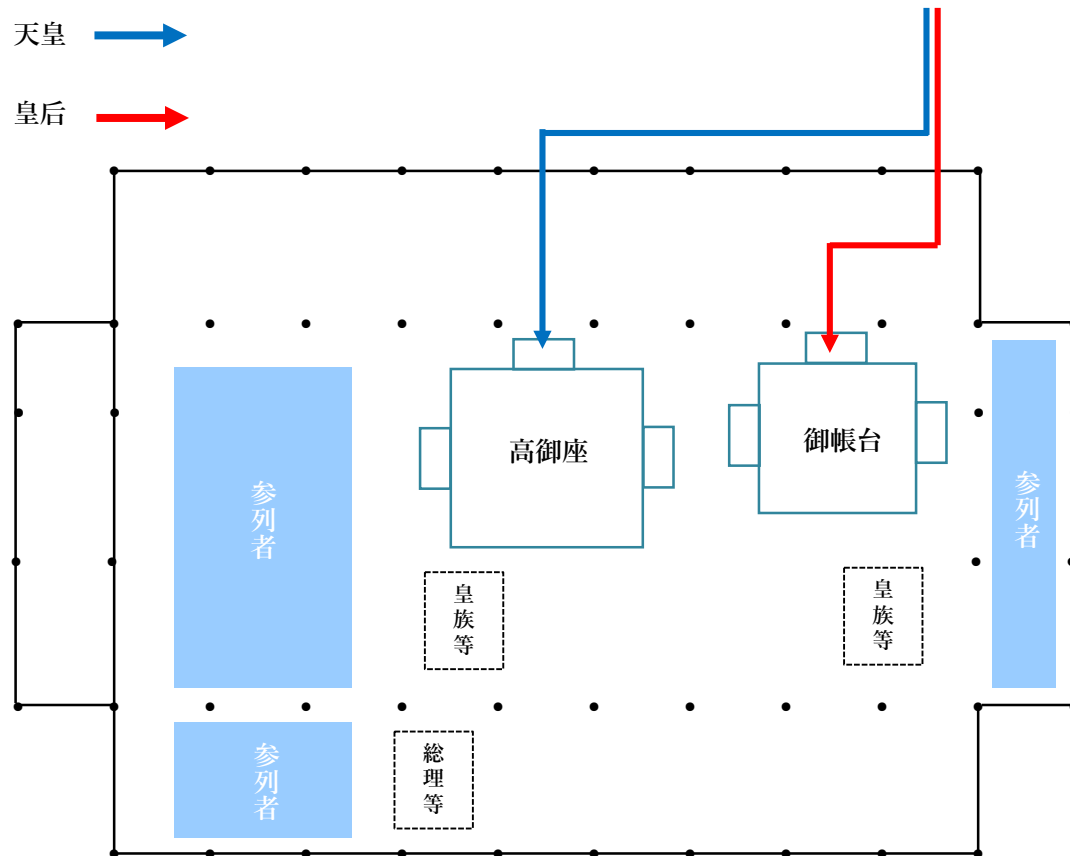
テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、外国報道関係等各代表

(参考) 即位礼正殿の儀における天皇皇后両陛下のお出ましの経路について

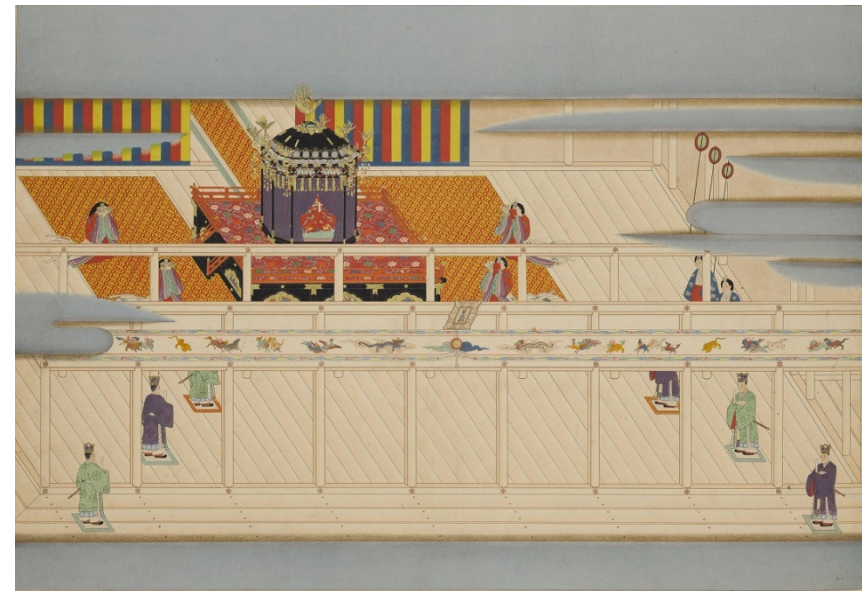
● 伝統的な即位礼におけるお出ましの経路

かつて京都御所で行われていた即位礼においては、天皇は、式場（紫宸殿）の後方からお入りになり、続けて高御座にお昇りになった上で、参列者にお姿をお見せになっていた。

京都御所紫宸殿における天皇・皇后のお出まし経路（昭和度の例）



孝明天皇紀附図（宮内庁宮内公文書館所蔵）



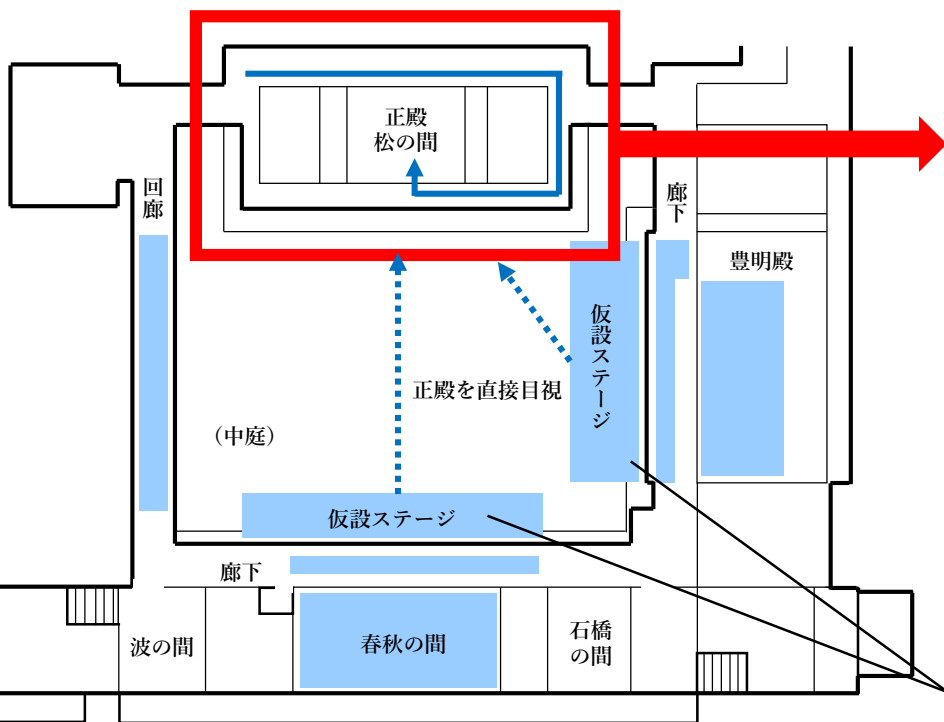
孝明天皇（第121代）の即位礼の様子を描いた図

昭和度においては、紫宸殿（式場）内において、大使・使節及び大勲位以下勲一等以上の者並びにこれらの者の配偶者が参列した。

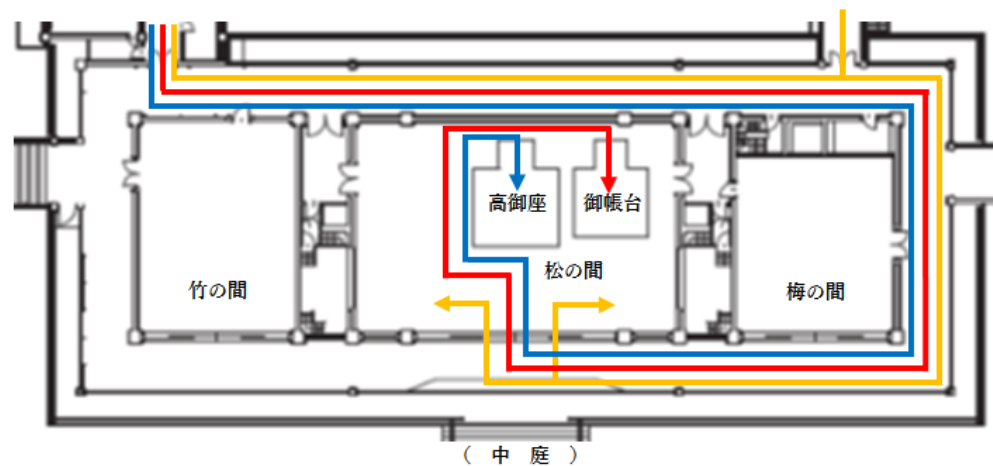
●平成度におけるお出ましの経路

- 平成度の「即位礼正殿の儀」は、史上初めて、東京の宮殿で行われるとともに、外国の元首級を含む多数の賓客が宮殿の中庭を取り囲む形で参列することとなったことから、参列者が天皇皇后両陛下のお姿に接する機会をできる限り確保できるよう、宮殿中庭に仮設ステージ席を設置するなど、参列者が儀式の様子を把握するための様々な工夫が施された。
- このような工夫の一つとして、仮設ステージ席に着席された外国賓客・国内要人等の主要な参列者が両陛下のお姿にできるだけ直接接することができるよう、両陛下には正殿梅の間前の廊下を経てお出ましいただくこととされた。

平成度の宮殿配席図
(青塗り部分に参列者が着席)



天皇皇后両陛下・皇族殿下のお出まし経路



天皇陛下 →

皇后陛下 →

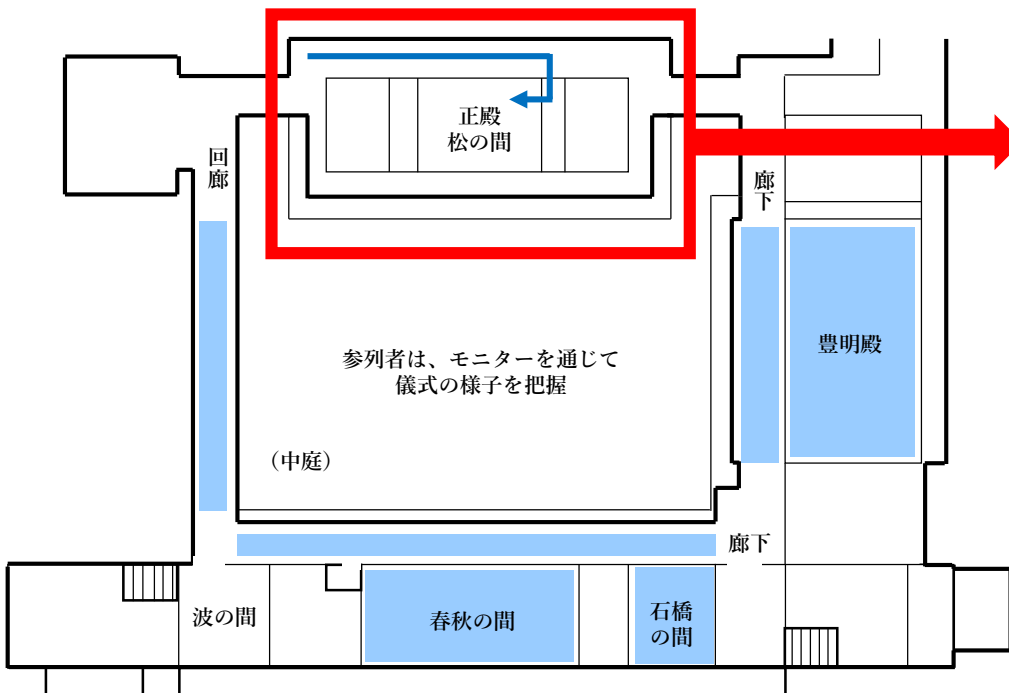
皇族殿下 →

外国賓客や国内要人等が着席

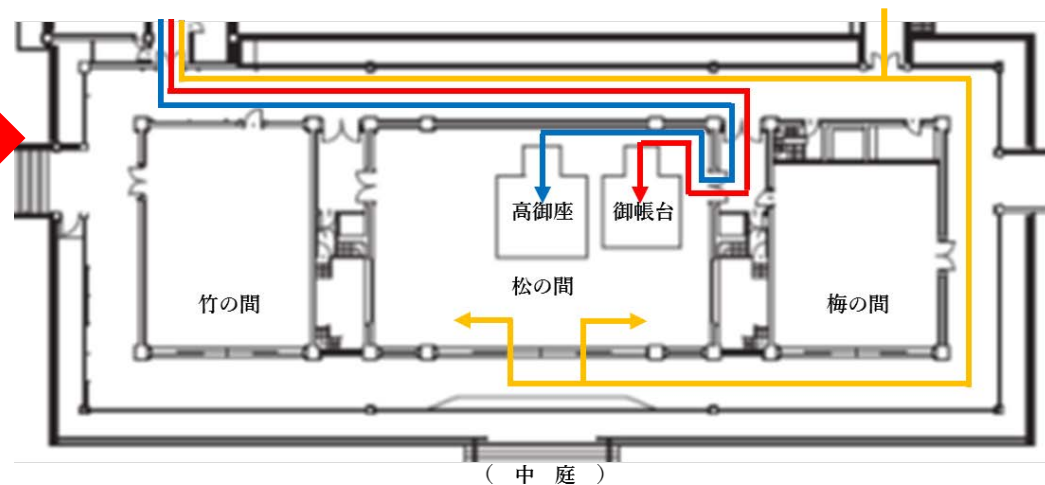
●今回のお出ましの経路

- ・ 今回については、荒天の場合を考慮して仮設ステージ席を設置しないこととしており、参列者は宮殿の豊明殿、春秋の間、石橋の間及び中庭を取り囲む廊下に着席し、これらの場所に多数設置された大小のモニターも活用することで、儀式の様子を把握することが可能となっている。このため、両陛下に正殿前の廊下を経てお出ましただかなくとも、全ての参列者が、平成度よりも格段に詳細かつ鮮明に両陛下のお姿に接することができるようになっている。
- ・ 今回の即位礼正殿の儀においては、こうした状況の変化を踏まえ、京都御所で行われていた即位礼における経路の在り方を踏襲し、両陛下には正殿松の間の後方からお入りいただき、続けて高御座・御帳台にお昇りいただくこととした。
- ・ なお、皇族殿下は、平成度と同様に、正殿梅の間の前を経てお出ましになる。

今回の宮殿配席図
(青塗り部分に参列者が着席)



天皇皇后両陛下・皇族殿下のお出まし経路 (案)



天皇陛下 → 皇后陛下 → 皇族殿下 →

※天皇皇后両陛下・皇族殿下は、平成度と同様に、正殿竹の間の前を経て御退出になる。